

# てつなぎ

保健だより

異常な暑さが続いた今年の夏でしたが、ようやく過ごしやすい日も出てきました。熱中症予防のため室内活動が多かった子どもたちが、元気いっぱい園庭を駆け回る姿や、嬉しそうにお散歩に行く姿を見て、秋の訪れの喜びを改めて感じています。

短い秋ならではの自然を存分に味わい、思いっきり楽しんでほしいと思います。



## 秋の全園児健診のお知らせ

10月23日（月）13時00分頃～

園医の武井先生が全園児の健康診断を行います。年に2回の健診ですので、受けられるように調整をお願い致します。

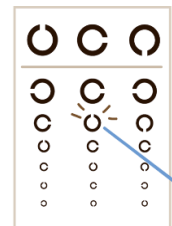
お休みでも、健診だけ受けに登園することもできます。事前に連絡帳にてお知らせください。



## ～5才児視力検査を行います～

10月に視力検査を行います。日程は決まり次第きっぷノートでお知らせします。ご確認ください。

事前にお便りを配布致しますので、ご自宅でも練習してみてください。



## 乳児医療証、健康保険証の更新は不要となりました

今年度より乳児医療証、健康保険証のコピーのご提出は不要となりました。

園での怪我等による受診の際は、保育園で医療費の立て替えを致します。お手数をお掛け致しますが、後日受診先に原本をお持ち頂き、精算をお願い致します。

## 子どもの目の成長と異常の早期発見

子どもは目が見えにくくても、それが普通だと思っており、自分から目の異常を伝えることができません。そのため、周りにいる大人が気付くことが大切です。**早期発見・治療のために3歳児健診の役割は大きいのです。**子どもの目の機能は、7歳頃までに完成します。小学校になる頃には、日常生活に支障がないレベルで視力は安定します。

**<見えにくそうな様子>・・・早めに眼科受診をしましょう**

- ・テレビを観るときいつも近付いている、ものを見るときに首を傾けている
- ・転びやすい、よく物にぶつかる
- ・ぬり絵やお絵かきをしていても、すぐに飽きてやめてしまう
- ・片方の目を隠すと嫌がる
- ・目の前の小さなものをつかみ損ねることが多い



[【こんな様子には要注意！】子どもの弱視のみつけ方・治療方法 | めがね新聞\(メガネ・眼鏡\)](#)

## おたふく予防接種の費用助成について



### 【おたふくかぜとおたふくかぜワクチンについて】

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、年齢を問わず高頻度で合併症を起こします。乳幼児期から学童期では、無菌性髄膜炎、急性膀胱炎、感音性難聴などを、成人期では、精巣炎、卵巣炎等を合併します。流行性耳下腺炎は、全てのライフステージにおいて影響のある感染症です。予防接種を受けることで、感染・発症のリスクを軽減できます。

### 【対象者（令和5年度）】

接種日時時点で稲城市に住民登録がある次のお子様

- 1回目接種の場合：満1歳から小学校就学前年度（年長児）のお子様
- 2回目接種の場合：小学校就学前年度（年長児）かつ1回目接種から2年以上経過しているお子様

### 【助成期間（令和5年度）】

**令和5年10月2日（月曜日）から令和6年3月30日（土曜日）**

### 【助成金額】

お一人につき、**上限額3,000円を2回まで**助成



[（令和5年10月2日より費用助成を開始します。）おたふくかぜ予防接種（任意接種）の費用助成について稲城市ホームページ](#)

**9月の様子** どのクラスも診断のついていない発熱のお子さんや咳・鼻水などのかぜ症状のお子さんが多かったです。東京都では先月インフルエンザの「流行注意報」がでました。9月に注意報が出るのは異例で、2009年以来ということです。近隣の小中学校ではインフルエンザやコロナの流行もあるようです。今後の感染の動向に注意が必要です。  
(山崎 弘美)